

ISSN 1880-1447



Journal of Traditional Medicines

Vol.28, Supplement, 2011

<http://www.wakan-iyaku.gr.jp>

The 28th Annual Meeting of
Medical and Pharmaceutical Society
for WAKAN-YAKU

August 27-28, 2011

Toyama Kenmin Kaikan (Toyama Prefectural Hall), Toyama



Medical and Pharmaceutical Society for WAKAN-YAKU



和漢医薬学会

Medical and Pharmaceutical Society for WAKAN-YAKU

第28回 和漢医薬学会学術大会

要旨集

会期 平成23年(2011年)8月27日(土)・28日(日)
会場 富山県民会館(富山市新総曲輪4-18)
大会長 嶋田 豊(富山大学大学院医学薬学研究部和漢診療学講座)
後援 (社)日本東洋医学会
(財)富山県高等教育振興財団 富山県 富山市

日程表 8月27日(土)

	A会場 ホール	B会場 3階304号室	C会場 4階401号室	P会場(ポスター会場) 5階508・509・501・502・503号室	8階キャッスル
8:00					
	開会式 8:40~8:45				
9:00	シンポジウム1 8:45~11:00 和漢薬基礎研究の最前線 オーガナイザー(座長) 松本欣三 堀江俊治	一般演題(口演発表1) 8:50~9:30 生薬資源・天然物化学 座長:伏見裕利 松田久司		ポスター貼付 8:45~11:00	
10:00	シンポジウム 東田道久 松本健次郎 鄭 美和 磯濱洋一郎 永井隆之	一般演題(口演発表2) 9:30~10:10 薬理活性・薬物相互作用 座長:手塚康弘 牧野利明			
		一般演題(口演発表3) 10:10~10:40 薬物代謝・診断 座長:加藤 敦 喜多敏明			
11:00	特別講演1 11:00~11:50 Cai Shao-Qing 座長:清木育夫			ポスター展示 11:00~13:25	
12:00					
	ランチョンセミナー1 12:10~13:10 共催:株式会社ツムラ 小川恵子 進藤吉明 座長:元雄良治				評議員会 12:20~13:20
13:00					
14:00				一般演題 13:25~14:05 (ポスター発表)	
	総会 14:10~14:35	市民公開講座 14:00~16:00 福澤素子 花輪壽彦 座長:秋葉哲生		ポスター展示 14:05~18:30	
	特別報告 寺澤捷年 14:35~14:55 座長:渡辺賢治				
15:00	学会奨励賞受賞講演 15:00~15:30 佐藤雄己 早崎知幸 座長:服部征雄				
	学会賞受賞講演 15:30~16:15 谿 忠人 座長:服部征雄				
16:00					
	シンポジウム2 16:15~18:30 生薬・天然薬物研究の最前線 オーガナイザー(座長) 小松かつ子 丸山卓郎	一般演題(口演発表4) 16:30~17:20 神経・精神 座長:鳥居塚和生 渡邊泰雄	一般演題(口演発表6) 16:30~17:20 呼吸器・消化器・腎臓・代謝 座長:油田正樹 門脇 真		
17:00	シンポジウム 丸山卓郎 佐藤正幸 吉松嘉代 朱 姝 北島満里子	一般演題(口演発表5) 17:20~18:00 皮膚 座長:清原寛章 東田千尋	一般演題(口演発表7) 17:20~18:00 免疫・アレルギー 座長:黒川昌彦 田中宏幸		
18:00					
19:00					懇親会 19:00~21:00
20:00					
21:00					

日程表 8月28日(日)

	A会場 ホール	B会場 3階304号室	C会場 4階401号室	P会場(ポスター会場) 5階508・509・501・502・503号室	8階キャッスル
8:00					
9:00	シンポジウム3 8:45~11:00 和漢薬臨床研究の最前線 オーガナイザー(座長) 柴原直利 元雄良治 シンポジスト 小林裕美 小暮敏明 藤本 誠 元雄良治 後山尚久	一般演題(口演発表8) 9:00~10:00 基礎研究 座長:岩崎克典 櫻井宏明		ポスター展示 8:45~14:30	
10:00		一般演題(口演発表9) 10:00~10:30 臨床研究・情報 座長:笠原裕司			
11:00	特別講演2 11:00~11:50 Cho Ki-Ho 座長:寺澤捷年				
12:00					
13:00	ランチョンセミナー2 12:10~13:10 共催:小太郎漢方製薬株式会社 佐竹元吉 座長:小橋恭一				
14:00	シンポジウム4 13:30~15:45 和漢医薬学教育・人材育成 の最前線 オーガナイザー(座長) 並木隆雄 雨谷 栄 シンポジスト 並木隆雄 新井 信 及川哲郎 雨谷 栄 戸田哲司 山田陽城	病院・開局薬剤師 のための漢方講座 座長 三猪忠道 金 成俊 講師 渡部有貴 本間精一 糸美智子 野上達也 田原英一		ポスター撤去 14:30~15:45	
15:00					
16:00	閉会式 15:45~15:50				
17:00					
18:00					
19:00					
20:00					
21:00					

プログラム

特別講演 1

27日(土) 11:00~11:50 A会場(ホール)

座長: 濟木育夫 (富山大学和漢医薬学総合研究所)

SL-1 Approach to quality evaluation of traditional Chinese drugs

Cai Shao-Qing (蔡少青)

Division of Pharmacognosy, School of Pharmaceutical Sciences, Peking University, China

特別講演 2

28日(日) 11:00~11:50 A会場(ホール)

座長: 寺澤捷年 (千葉中央メディカルセンター)

SL-2 脳血管疾患における漢方薬の有効性

Cho Ki-Ho (曹基湖)

Department of Cardiovascular and Neurologic Diseases, College of Oriental Medicine, Kyung Hee University, Republic of Korea

学会賞受賞講演

27日(土) 15:30~16:15 A会場(ホール)

座長: 服部征雄 (和漢医薬学会理事長)

AL 和漢薬の資源・育薬・創薬研究と総合知の薬育

谿 忠人

大阪大谷大学薬学部

学会奨励賞受賞講演

27日(土) 15:00~15:30 A会場(ホール)

座長: 服部征雄 (和漢医薬学会理事長)

IL-1 血漿中消化管ペプチド濃度を指標としたオピオイド誘発性便秘に対する大建中湯の効果の検討

佐藤雄己

大分大学附属病院薬剤部

IL-2 ヒト遺伝子発現解析を用いた当帰芍薬散の薬効評価

早崎知幸

北里大学東洋医学総合研究所

特別報告

27日(土) 14:35~14:55 A会場(ホール)

座長: 渡辺賢治 (慶應義塾大学医学部)

SR 伝統医学に関する国際標準化の動き —ISO/TC249とJLOM・東洋医学サミット会議—

寺澤捷年

日本東洋医学サミット会議 (JLOM) 前議長

シンポジウム

シンポジウム 1

27日(土) 8:45~11:00 A会場(ホール)

座長：松本欣三(富山大学和漢医薬学総合研究所複合薬物薬理学分野)
堀江俊治(城西国際大学薬学部薬理学講座)

和漢薬基礎研究の最前線

- S1-1** 和漢薬の理論を基盤にした各種うつ病発症機序の分類・解明と作用薬の開発をめざして
東田道久
富山大学和漢医薬学総合研究所複合薬物薬理学
- S1-2** 成因の異なる3種類の内臓痛覚過敏モデルラットにおける大建中湯および小建中湯の改善作用
松本健次郎
城西国際大学薬学部薬理学研究室
- S1-3** 更年期婦人病治療薬としての当帰芍薬散
鄭美和
国立医薬品食品衛生研究所生薬部
- S1-4** ケラチノサイトのアクアポリン-3発現に対する生薬の作用とその意義
○磯濱洋一郎¹, 久恒昭哲¹, 香月博志¹, 宮田健^{2,3}
¹熊本大学大学院生命科学研究部薬物活性学分野, ²宗城大学薬学部, ³富山大学和漢医薬学総合研究所機能情報解析分野
- S1-5** 麻黄剤のインフルエンザウイルス感染に対する作用と気道免疫系を介した機序の解析
○永井隆之, 清原寛章, 山田陽城
北里大学北里生命科学研究所和漢薬物学研究室/大学院感染制御科学府, 北里大学東洋医学総合研究所

シンポジウム 2

27日(土) 16:15~18:30 A会場(ホール)

座長：小松かつ子(富山大学和漢医薬学総合研究所生薬資源科学分野)
丸山卓郎(国立医薬品食品衛生研究所生薬部)

生薬・天然薬物研究の最前線

- S2-1** 生薬の品質評価のための新たな手法の確立
丸山卓郎
国立医薬品食品衛生研究所生薬部
- S2-2** 生薬中の残留有機リン系農薬及びその煎液への移行
佐藤正幸
北海道立衛生研究所理化学部薬品保健グループ
- S2-3** 栽培技術の革新：閉鎖系栽培施設における薬用植物の養液栽培
吉松嘉代
独立行政法人医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター筑波研究部

S2-4 漢薬「麻黄」の資源探索：モンゴル国産 *Ephedra* 属植物の遺伝子多型とアルカロイド成分に関する研究

○朱 姝, 木谷友紀, 小松かつ子
富山大学和漢医薬学総合研究所生薬資源科学分野

S2-5 薬用資源植物含有生物活性アルカロイドの探索と創薬先導化合物の創製研究

北島満里子
千葉大学大学院薬学研究院

シンポジウム 3

28日(日) 8:45~11:00 A会場(ホール)

座長：柴原直利(富山大学和漢医薬学総合研究所漢方診断学分野)
元雄良治(金沢医科大学腫瘍内科学)

和漢薬臨床研究の最前線

S3-1 アトピー性皮膚炎治療における和漢薬の有用性

○小林裕美, 田宮久詩, 柳原茂人, 中西健史, 水野信之, 鶴田大輔, 石井正光
大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学

S3-2 関節リウマチに対する漢方治療戦略—最近の話題—

小暮敏明
社会保険群馬中央総合病院和漢診療科

S3-3 非アルコール性脂肪性肝障害に対する漢方方剤の有用性

藤本 誠
富山大学大学院医学薬学研究部和漢診療学講座

S3-4 がん診療への和漢薬の応用：臨床的エビデンスを求めて

元雄良治
金沢医科大学腫瘍内科学・集学的がん治療センター

S3-5 温経湯の臨床 —病名処方と方証相對—

後山尚久
大阪医科大学健康科学クリニック未病科学・健康生成医学寄付講座

シンポジウム 4

28日(日) 13:30~15:45 A会場(ホール)

座長：並木隆雄(千葉大学大学院医学研究院和漢診療学)
雨谷 栄(日本薬科大学)

和漢医薬学教育・人材育成の最前線

S4-1 医学系における和漢医薬学教育・人材育成の最近の状況と問題点

並木隆雄
千葉大学大学院医学研究院和漢診療学

S4-2 卒前教育の今後の対応—国試想定問題の作成—

新井 信
東海大学医学部東洋医学講座

-
- S4-3** 北里大学東洋医学総合研究所における和漢医薬学教育・人材育成
及川哲郎
北里大学東洋医学総合研究所
- S4-4** 薬学における和漢医薬学の卒前教育
雨谷 栄
日本薬科大学
- S4-5** 薬局で求められる様々な東洋医学の知識と、多様な人材育成の方向性
戸田哲司
株式会社高島堂薬局
- S4-6** 和漢医薬学の研究力の育成－薬学や学際領域からの視点
山田陽城
北里大学北里生命科学研究所 大学院感染制御科学府 東洋医学総合研究所

ランチオンセミナー1

(共催：株式会社ツムラ)

27日(土) 12:10~13:10 A会場(ホール)

座長：元雄良治(金沢医科大学腫瘍内科学 教授)

LS1-1 がん治療に伴う症状緩和としての漢方治療

～乳がん治療における副作用緩和を中心に～

小川恵子

金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科 和漢診療外来 特任准教授

LS1-2 漢方薬による癌化学療法副作用対策

～大腸癌を中心に～

進藤吉明

中通総合病院消化器外科 科長

ランチオンセミナー2

(共催：小太郎製薬株式会社)

28日(日) 12:10~13:10 A会場(ホール)

座長：小橋恭一(富山大学 名誉教授)

LS2 薬局方に収載された漢方処方と新210処方

佐竹元吉

富山大学 お茶の水女子大学 客員教授

市民公開講座

27日(土) 14:00~16:00 B会場(304号室)

座長：秋葉哲生(あきば伝統医学クリニック)

PL-1 女性と漢方

福澤素子

表参道福澤クリニック

PL-2 男性と漢方

花輪壽彦

北里大学東洋医学総合研究所 所長

病院・開局薬剤師のための漢方講座（主催：富山県病院薬剤師会）

28日（日）13：30～16：30 B会場（304号室）

座長：三浦忠道（福島県立大学会津医療センター準備室（東洋医学））
金 成俊（横浜薬科大学）

KL-1 病院実務実習における和漢薬業務指導での当院の取り組み

渡部有貴
富山大学附属病院薬剤部

KL-2 薬局実務実習における漢方教育の取り組み

本間精一
温故堂漢方 あけぼの薬局

KL-3 漢方方剤煎剤の調製・保存・加温法と主要成分量に与える影響について

条美智子
富山大学和漢医薬学総合研究所臨床科学部門漢方診断学分野

KL-4 漢方薬について漢方医はどう説明しているか

野上達也
富山大学附属病院和漢診療科

KL-5 服薬指導に役立つ漢方のお話

田原英一
飯塚病院東洋医学センター漢方診療科

優秀発表賞

口演	田宮 久詩	大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学	当帰飲子は老齡マウス皮膚の乾皮症状態を改善する～皮膚機能計測およびコルネオサイトメトリーによる検討～
	中田 理恵	富山大学和漢医薬学総合研究所薬効解析部	アルツハイマー病モデルマウスの記憶障害と軸策変性を改善する加味帰脾湯の作用
	藤川 理沙子	福岡大学薬学部臨床疾患薬理学教室	抑肝散は脳血管性認知症の中核症状の治療薬となり得る